

ストップ!
農作業事故

農業機械の安全性について

人間工学専門家 ● 石川文武



積雪地帯を除き春作業が始まります。農作業に限らず、われわれの周囲は危険がいっぱいです。「絶対の安全」は存在しません。小さな「事故の芽」を摘み取っておけば、大きな事故にはならないのですが、他人任せで安全が保たれると考えると、それは大きな間違いです。

「水」「空気」「安全」は、もはやただではありせんし、幼児や高齢者を除いて、誰かが守ってくれるわけでもありません。自分で安全を確保しなければいけないのです。もちろん、農業機械の場合は「安全鑑定」というシステムによって、事故を起こしにくいようになっていますが、作業方法に問題があれば事故ゼロにはなりません。安全装備が施されて

いても、その機能を無視するようないて方も、その機能を無視するようないて方をすれば事故の可能性もあり、円滑な作業のためにはハード技術的に防護し切れない部分もあり、事故が発生しています。

われわれの周囲に潜んでいる事故の芽をいち早く察知し、その危険が小さいうちに駆除するか、その芽から遠ざかる工夫を習慣的に行えるようにすることが大切です。マスメディアや近隣からの事故情報、過去の危険体験などを基礎として、類似の事故を起こさないための学習と行動が必要です。実際の事故よりは「ヒヤリ・ハット」体験を多くしていると思えますが、一歩対応を間違えれば事故になるのが「ヒヤリ・ハット」です。「ヒヤリ・ハット」で済んだから反省をしないのではなく、ハード、ソフト、システムの面から分析をすることによって、再発防止につなげることが可能になります。

そのために有効なのが、「危険予知活動」です。これから取り組む作業について、起こり得る危険を考え、対処法を事前に確認することが、事故の芽を摘む一つの工夫にもなります。事故よりは無事故で済むことが圧倒的に多く、「今日も無事に過すことができた、その理由は……」と考えることも有効です。

お知らせ 4月より 農機センターが集約されます

これまで

- 南部農機センター
- 中央農機センター
- 北部農機センター

集約後は

- 軽整備 → 農機センター(千丁町)
- 重整備 → 大型整備センター(旧北部農機センター)
大型農機格納整備点検

南部、中央、北部の各地区に巡回修理班、営業を兼ねた地区別担当者の配置を行います。使用前の巡回整備点検会を実施し、農繁期中

の修理件数の減少につなげ、組合員サービス利用向上に努めます。

JAやつしろ 農機車輛課
TEL 0965-35-0909

熊本県 県南広域本部よりお知らせ 農耕車限定大型特殊・けん引免許取得講座

(平成29年度 農作業安全講座)

・研修の種類 **農作業安全講習**

・募集期間
平成29年4月10日(月)
～ **5月8日(月)** 必着

・お申し込みとご質問は下記へ
熊本県 県南広域本部 農業普及・振興課
(TEL0965-33-3418)
〒866-8555 熊本県 八代市 西方町 1660
熊本県立農業大学 研修部
(TEL096-248-6600)

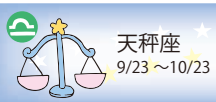
該当するページ
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_10015.html

・受講対象者
(1) 県内に居住する専業農家(1戸1法人の農業生産法人を含む)、第1種兼業農家の構成員で、年間150日以上自営農業に従事するとともに、大型特殊車両の農業機械を有するまたは利用している者(予定も含む)。
(2) 県内に居住する県内の農業生産組織または農業生産法人(1戸1法人を除く)の構成員、従業員、オペレーターであり、大型特殊車両の農業機械を運転・操作する業務を担う者。

他に運転免許試験の受験資格を満たす必要があります。ただし、認定農業者等の講座で定める担い手に該当する場合は優先選定します。また、申込多数の場合は抽選となります。



資料写真 = 水田深耕畦立競技大会より



● 全体運 ● ささいなことでも落ち込んだり、傷ついたりしやすく、勢いをキープできない期間。あれこれ考え過ぎない方が吉

● 健康運 ● 同じ姿勢を続けず、適度に体をほぐして

● 幸運を呼ぶ食べ物 ● しらす